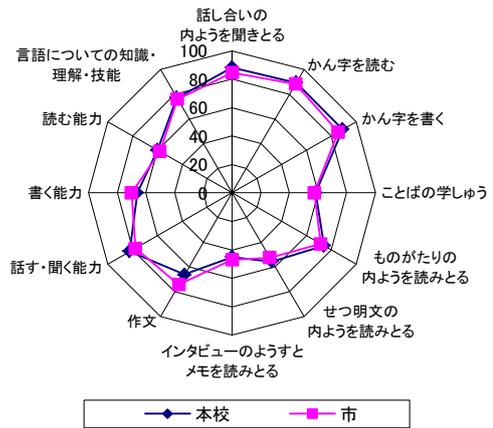


# 宇都宮市立平石北小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	88.0	84.6
	かん字を読む	89.6	88.6
	かん字を書く	89.2	85.4
	ことばの学しゅう	58.3	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	74.1	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	55.6	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	45.1	46.8
	作文	66.3	74.2
観点別	話す・聞く能力	82.3	77.8
	書く能力	66.0	69.9
	読む能力	59.9	58.2
	言語についての知識・理解・技能	77.0	76.0



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・正答率は88.0%で、市の平均を3.4ポイント上回っている。話の内容の大事なところを落とさないように聞き取ったり、話題に沿って自分の意見をまとめたりすることができる。	・話の聞き方や話し方のポイントを揭示し、常に意識しながら話し合いができるようにする。朝の1分間スピーチや会話科の学習などを通して、児童一人一人がみんなの前で話す機会を設け、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるスキルを身に付けさせる。
かん字	・読みの正答率は89.6%で、市の平均を1.0ポイント上回っている。書くの正答率は89.2%で、市の平均を3.8ポイント上回っている。漢字の読み書きは、ほぼ正しく身に付いている。	・ドリル的な練習やミニテストを継続的に実施し、漢字の読み書きがさらに正確にできるようにする。日記や作文を書くときは、習った漢字をきちんと使うように指導し、習熟を図る。
ことばの学しゅう	・正答率は58.3%で、市の平均を1.0ポイント上回っている。国語辞典に出てくる言葉の順番については理解している。漢字の部首やローマ字表記については正答率が低い。	・意味の分からない言葉があったときは、国語辞典や漢字辞典を使って調べさせるようにする。辞典を使いながら、漢字の部首や言葉の活用について理解を深めさせる。ローマ字については、プリント学習を中心に書く活動を多く取り入れ、正しい書き方を身に付けさせる。
ものがたりの内ようを読みとる	・正答率は74.1%で、市の平均を2.6%上回っている。登場人物の気持ちを文章に即して読み取ることができるが、場面の様子を読み取ることが苦手としている。	・物語文の学習において、人物の心情や場面の様子を表す言葉に線を引かせ、自分の感じたことを書き加えさせる。特に、人物の心情や場面の様子が変わるところに着目させる。音読指導を継続的に行い、スムーズに読めるようにすることで、話の内容をきちんと理解できるようにする。
せつ明文の内ようを読みとる	・正答率は55.6%で、市の平均を3.1%上回っている。筆者の伝えたいことを文中より読み取ることはある程度正確にできる。しかし、文章の要点を読み取り、短かくまとめることができない。	・文章中に繰り返し出てくる言葉や題名に深く関係する言葉などに注目して、文章の要点を読み取ることができるようにする。また、段落の役割に注意して読み、文章の要点をまとめる活動を繰り返し指導する。
インタビューのようすとメモを読みとる	・正答率は45.1%で、市の平均を1.7%下回っている。話の前後から類推して当てはまる言葉を文章に補うことは苦手である。	・総合的な学習の時間や会話科、社会科見学などの学習を通して、インタビューの仕方やメモの書き方について理解を深める。インタビューの練習を繰り返し行うことにより、一人一人のコミュニケーション能力を高めていくようにする。
作文	・正答率は66.3%で、市の平均を7.9%下回っている。題材に合わせて、自分の考えを指定された字数で書くことはある程度できる。しかし、話のまとまりに気を付けて、段落を使いながら文章を書くことができていない。	・国語の作文教材や日記指導を通して、文章を書くことに慣れさせる。段落の意味について繰り返し指導し、理解を深めさせるとともに、作文を書くときは意識して段落をつくるようにさせる。